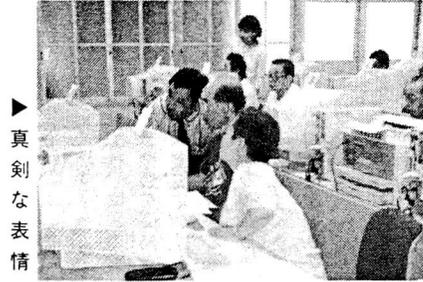




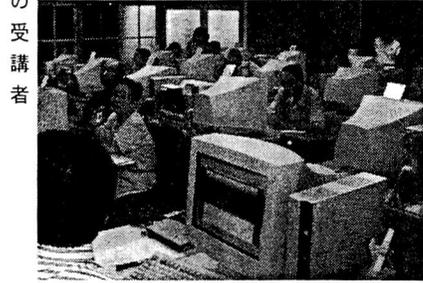
組合組工業金板県知
会委員報廣行
町北昭和市屋名
466-0006 〒
052-732-1226 電話

名古屋板金連合会 IT講習会

お盆休みに入った8月12日(日)かねてより要望のあったパソコン講習会が、愛知県職業訓練会館4階「パソコン教室」において6時間のパソコン入門講習会が開催されました。例年は見学・勉強会が企画されますが、このところ話題のITに接するための講習会をやってほしいとの声に、急遽長谷川信俊氏のお計らいにより、スケジュールの詰まった県職業訓練会館パソコン教室を確保して頂き、1日だけの講習となった。



真剣な表情の受講者



も受講者の70%ちかくの方がパソコンに触れるのは初めてとの人がばかりで、午前中の講義ではサッパリとか、ディスプレイ画面の移り変わりにあっけにと取られたり、それでも休憩するのも忘れて熱中する人がほとんどで、昼食もそこそこ午後の講義に入りインターネット、Eメールへと

参加者募集

愛知県板金ボーリング大会

(西三板金連合会担当)

◎日 時 10月14日(日) 10時スタート

◎場 所 イーグルボウル 知立市宝町

◎参加対象者 組合員・従業員及び家族

◎会 費 千五百円

*支部長を通じて申込み下さい。

賞品多数
参加賞有

【東三支部】改革!!

現在、東三板金工業組合の組合員は一七〇事業所弱。(その内六〇事業所が愛板に加入)一〇地区二三部で構成されている。南は渥美半島の先端から、北は豊根村(長野県境)までと範囲も広い。主な活動として、毎月一回の定例会・組合だより(新聞)の発行。年数回の勉強会・ゴルフコンペ。年一回の親睦旅行・家族会(地引網)・新年会などがある。

この四月の役員改選により新しく吉田万作氏が組合長に就任した。吉田組合長は、「まだ数年は続くであろうこの厳しい状況の中で、なんとか生き残り二〇〇五年の正月を明るく笑って迎えよう!」をスローガンに、その為に組合が各組合員にできる最も重要な事項として「様々な情報の提供」を掲げた。

まず、毎月の定例会時に講習会を行うことにした。通常、定例会は、三役・各地区長・各部長のみで行われるが、講演予告等を前の月の「組合だより」に掲載することにより、講演会には組合員なら誰でも自由に参加できるように計らった。また、その組合だより(新聞)も今まで以上に内容を充実させ、定例会の議事録・愛板での各委員会の内容報告など、建設業・板金業のあらゆる情報を載せていきたいと考えている。

今年の東三板青年部総会の折、組合についてアンケートをとったところ、組合加入の理由は「保険ため」「親睦のため」「おつきあい」などの答え

が大部分を占めた。「今の組合に魅力を感じますか?」の問いにイエスと答えた人はわずか数名しかないというのが現状である。

組合も変わらうと動きはじめた。その組合から何を学び、組合の提供する情報をどう利用し、いかに活用していくか? それは、各組合員一人一人の努力次第である。厳しい時代であるが、何とか歯をくいしばり、一〇年後・二〇年後も板金屋でありたいと願う。組合の改革と同時に、自分の意識も改革させ頑張っていきたいと思う。

東三 松浦



平成13年度 全国労働衛生週間 実施される

準備期間 9月1日～30日
本週間 10月1日～7日

「スローガン」
新世紀標準！
…健康で笑顔あふれる快適職場



毎年欠かさず、全国労働衛生週間が実施され、本年度で第五十二回を迎える事となった。この間、本週間は、国民の労働衛生に関する意識を高揚させ、さらに、事業場における自主的労働衛生管理活動を通じた労働者の健康の確保と快適な職場環境の形成に大きな役割を果たして来たところであるが、

昨年の我が国の職業性疾病による被災者は八、〇八三人、一〇年前の約三分の二まで減少したが、依然として腰痛等の負傷に起因する疾病や、じん肺症等の職業性疾病は後を絶たず、有機溶剤中毒、一酸化炭素中毒、酸素欠乏症等の災害も繰り返して発生している状況である。一方、最近に於ける労働者の健康状況については、産業構造の変化、高齢化の進展等労働者を取り巻く環境が変化する中で、一般健

康診断の結果、脳・心疾患につながる所見を始めとし、何らかの所見を有する労働者が四割を超えると共に、現下の厳しい経済情勢の中で、仕事や職場生活に関する強い不安・悩み、ストレスを感じる労働者の割合が年々増加している。我々の業界においては、年々若年層の減少に伴い、担い手を高齢者に依存している傾向が見受けられ、それらに拍車を掛けたこと、世情は冷えきっている。現実に早期発見を企画し、日頃の管理を十分に維持する事が、労働災害の撲滅に参与出来れば一石二鳥となろう。更に、今夏は特に異常気象の影響を受け、熱中症が蔓延し多くの労働者が被災され、多数の死亡者もありやとの報道。何れにしろ放置すると重大事故を招くケースも多々あるや否や?…自分

の健康は自分で管理する事に
ある。

一方事業所にあつては、工場内の換気・採光・温度などを整え、清潔・清掃に努め働き易い職場における健康作り

今、小泉総理が人気である。自民党でなく、小泉総理が、である。近づく参院選に向けて、自民党の内でも小泉総理に反対する勢力も、小泉氏へ小泉氏へとたぎく。我々も、マスコミ等につられて片棒を担いでまいいか。少し冷静になろうではないか。アイドル的な人気ばかりが先行し、具体的な政策、指標というものが見えてこない。

先日の訪米時に、ワシントンポストの記者は、「小泉氏は、口先で自分の考えを長々と述べ、具体的な事柄はない。これは旧政治家の形である」と言っていた。就任二ヶ月とはいえ、そろそろ形が見えてきていいのではないか。このままいくと、旧来の自民党政治と何ら変わらない。絵に描いたモチでは何にもならない。外務省の内紛も、又小泉総理の言う、痛みの伴

を、従業員自身が積極的に参加することを重点におき、この労働衛生週間を大いに活用され、災害のない明るい職場を築いてと、願わずにはいけない。(ご安全に) 沼澤

これからどうなる？

知立 齊藤 孝行

う構造改革であるが、我々の世界では、すでに相当な痛みが出ています。しかし、多くの人の話を聞けば「まだまだこんなものではない」と言われる。そうかも知れぬ。

建設業者を例にすると、かの米国は、人口二億四千万人にして、約五十万社である。比して、我、日本国は、一億三千万にして、六十万社である。規模と流通の違いはあっても約倍の数になる。ここでも相当な痛みになる事必定ではないか。我々の業界でも、仕事量の減少と、単価の下落という、もう、どうにもならないところ迄きている。このまま淘汰されるのを待つしかないのか。

しかし、目を移せば、この不況の中で、シャネル、ルイ・ヴィトン等に代表される海外有名ブランドは好調な売れ行きである。何故であろうか、単に見栄を張るだけだろうか、

それもあるだろう。世界のトップレベルにある、預貯金による底力か、それも要因の一つではあろう。だが何よりも商品の持つ魅力が、そのほとんどを占めると思うのである。

アパレル産業にしても、ユニクロを始めとして、人件費の少ない、中国や東南アジア等で縫製し、良い品を安く売っている。やれば出来るのである。ユニクロは大手だから、大量の品を扱うから等、私自身もそう思っていた。だが、そういう時代は終わったのではないか。出来ない事の羅列はもうやめようではないか。

もし小泉氏の言う構造改革が行われたとしたら、我々を含めた業者は、約半数になるとの予測である。その半数の中に、何としても入るために我々のなすべき事は。



岡崎支部

マス釣り会開催

七月二十九日(日)に、下山村和合の狐塚マス釣り場にて、開催された。

午前八時三十分集合し、バスにて現地に出発した。参加者は、組合員とその家族など、総勢五十六人が参加した。

現地に着くと、直接現地に向かった人達が、バスの到着をまっていた。到着後、すぐに青年部役員が、主体になって、仕掛けやバーベキューの準備をはじめた。

準備が一段落したところで、加藤哲夫幹事より、会場の説明、高柳一男組合長より、「今日は、自然が相手なので、ケガをしないように楽しんでください」と、あいさつをい



▲ バーベキュー風景

ただいた後、再び準備をはじめた。

マスが準備されると、数十匹を、子供のつかみどり用にと池に放し、残りを川に放した。

さっそく糸をたらず人、飲食をはじめると、ひたすら料理作りを行う人など、さまざまなかたちで、一日を過ごした。

最後に、すいか割りを行い、組合長のあいさつで、閉会した。時刻は、午後三時を回っていた。

子供たちにとっては、日頃経験できない体験をし、今一回、夏のよい思い出ができたことでしょう。

岡崎 宇野



▲ 全員集合// "ハイポーズ"

東三支部

家族親睦バーベキュー大会

8月5日(日)、鳳来町の愛知県民の森にて、家族親睦会を行なった。例年ならば5月から6月に渥美町の海岸で地引網をしているのだが、ここ数年は、波が高かったり、他色々な悪条件が重なり、網が入らなかつた為、今年は趣向を変え、山中でのバーベキュー大会にした。

準備の為に開始1時間前に集合した時には、大粒の雨が降りだし、どうなる事かと思われたが、山の天気は変わりやすいのか、皆の普段の行ないが良いのか、開始時刻の11時頃には雨もあがり、それほど暑くもなく絶好のバーベキュー日和となった。

今回の目玉は、主に子供向けに計画したアユのつかみ取りである。深さ20cm、幅30cm、幅2m位の沢をせき止め生きたアユを120匹逃がした。

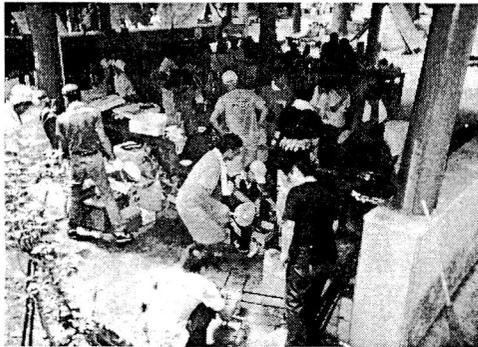
元気に泳ぎまわるアユを手づかみするのは、それは大変な事で子供達は喚声をあげ大喜び!? 最後には世話役の青年部員や見ていたお母さん

方も一緒に楽しんでいった。

バーベキューの方も、焼肉・焼ソバ・ウインナー・焼鳥・五平餅とメニューも豊富、食べる方も忙しいが、料理する方もこれまた大変で、振じり鉢巻きに汗びっしょりで頑張ってくれていた。

今回の参加者は大人・子供あわせて120名と、例年より少なめではあったが、仕事に追われ普段なかなか子供や孫と自然の中で遊んだり食べたりする機会も得られない為か、参加者皆、親やおじいちゃん顔に戻り、夏の一日、楽しく過ごせた様である。

東三 松浦



▲ 料理に奮闘する青年部員

「私の道楽」

私の会社の近くには、春になると田んぼにレンゲがいっぱい咲き、川のどてには菜の花、又、ナシ、カキ、ブドウ畑など自然にめぐまれた環境にあります。

私の道楽の一つに、蜜蜂を飼育しております。今年は七月初めまでに二斗ほどのハチミツが取れました。取れたハチミツを友人、知人に配って喜んでもらっています。会社の冷蔵庫の中にはハチミツレモン、ウメジュース、アロエジュースなどがいつも冷やしてあります。蜂を飼ってみて、蜜蜂の分業が非常に規律正しく行なわれているので、順を追って説明します。「蜜蜂の生態」一匹の女王を中心に二万から四万匹が協力して生活している。女王蜂は産卵。働蜂は労働。雄蜂は交配。働蜂の分業が規律正しく行なわれている。「保温」働蜂が出房したら翅や体の汚物は肢ですすって清めるが自分で蜜がなめれないので姉さん蜂からもらい一日、二日は卵や幼虫をあたため保温の役目をする。

「育児」三日すぎると幼虫を育てる。乳が分泌する期間は十三日ぐらいまでである。「記憶飛行」育児の仕事を終えると、初めて巣箱から抜け出し空中へ大きな円をえがきながら巣箱の形や位置をおぼえるためで三十分ぐらいで終る。この飛行中には花へは訪れない。「口つし」記憶飛行を終えたばかりの蜂は、姉さん蜂から口うつしで蜜を受け取り、巣房へ貯える。花粉には蜜を加え、腐らないようにする。「果づくり」日令十四日ごろになると下腹部からうすい蠟を出しこれで巣を作る。五、六日つづく。「果門の警戒、巢内清掃」つづいて巣箱の中の清掃や果門の警戒をする。これまでの蜂を内役蜂、これから花へ通い花蜜を集めるので外役蜂と称している。「花蜜、花粉の採集」日令二十一日をすぎた蜂は長い舌で花蜜を吸いあげ胃の一部に入れて帰巢する。花粉は両肢で巧みに円くかためてもち帰る。飛行は強く四キロを五分で飛べる。花盛りのころ労働しつづけた蜂は約三十五日で生涯を閉じる。

井上円治

「新しい蜜蜂の飼い方」より
豊田支部 西俣 章

北海道紀行 (中編)

旅行二日目。前日の曇空から快晴になり、ゴルフ組と観光組に分かれ、私は観光組に参加。ホテルの目の前のくま牧場を見学。ゴンドラで頂上に着き、まず子熊のおでむかえ。そしてあひるのレースを観戦。ここでも観光客はアジア系の外国人ばかりで、レースの応援も外国語がとびかっていた。その後、熊の曲芸を見学後下山し、温泉街を徒歩で地獄谷へ。硫黄のにおいの中、蒸気がでる山肌を見学した後、宿泊したホテル前にもどり、ゴルフ組の送迎を終えたバスと合流。一路、洞爺湖へ。途中の林道の道路脇に、

と、そこは今だに有珠山の災害から復興されていない街並があり、一夜で玄関先に積もった火山灰を、掃除する住民の姿が痛々しかった。

洞爺湖畔から目前に白煙が立ち昇る有珠山、対岸には残雪が残るえぞ富士を眺めることができた。

続いて、昭和新山に到着。

ここは既に観光地になっており、観光客も多い。ここで昼食の海鮮鍋を食す。我々の他は、台湾とハワイの団体客。

共にジンギスカン料理で、ハワイの団体のほとんどがビールのかわりにコーラを飲んでいたのには驚いた。

昼食後、有珠山ロープウェイに乗り、そこから徒歩で展望台へ。二日目とあって、皆足どりが重く息ぎれをしていた。展望台からは、内浦湾が一望でき、

対岸の渡島半島を本州(青森)と間違えるほどだった。皆疲れてバスにもどる。

観光組の日程はここまで。

この後、ゴルフ組を迎えに、茜ゴルフ場へ。途中高速から眺める景色は、競争馬用の牧草地ばかりで、一、二頭、たまにいますだけで、淋しい気がした。ここにも景気の影響なのだろうか。これだけ広大な土地があっても、湿原のため土地改良が難しいようだ。

ゴルフ場に到着後、ゴルフ組が一時間遅れて合流。北海道だけあって広すぎて、コースを回るのにも、時間がかかったようだ。もちろんスコアの話は禁句。今夜の宿泊地、札幌へ。市内に入ると今までの景色とは一変し、夕方のラッシュとで混雑していた。

ホテルに到着後、チェックインを済ませ、部屋に荷物を置き、夕食は少し離れたアサヒビール園に送迎してもらい

また道路脇には、くま笹が生えており、熊がとび出してきそうであった。北海道では竹が生えなく、そのかわりに料理等に使う笹の葉のかわりに、くま笹を使用する。



▲ 登別地獄谷



▲ 白煙を上げる有珠山

ジンギスカンの食べ放題、飲み放題。二日目とあって、最初の意気込みと違い、皆普段のビールの量よりも少なめで、

8月各支部の動き

名古屋板金連合会

12日 パソコン講習会29名

東北支部

12日・秋の旅行(宇奈月温泉) 日程等

・IT講習会反省会

中 支部

18日 親睦会 浩養園10名

中村支部

12日 パソコン講習会参加

昭和田支部

4日 月例会

熱田南支部

23日 定例会(10月の親睦旅行の件)

尾張板金連合会

23日 定例会合(9月2日のボーリング大会について等)

津島支部

5日 定例会

瀬戸支部

25日 定例会

春日井支部

・ボーリング大会参加者募集

・保証関係講習会案内

二時間程でホテルにもどり二次会は、各々が札幌のネオン街の雑踏の中へきえていった。

津島 猪飼

編集後記

小泉改革と言われ社会現象のように改革、改革と言われている。

改めて改革と言わなければならないのはマンネリ化しているからではないだろうか？人が代われば考えもまた変わる、変わって当然である。

全板連の理事長が昭和五十五年に三重県の若林さんになり、平成二年に福井県の臼井さんになり、平成十一年まで全板理事長であった。共に中部ブロックの選出であり「責任施工共同保証事業」には尽力され功績があった。

昨年から東北ブロックの勝又貞治氏になった。

全日本板金工業組合連合会組合員は一万五千余名である。中でも愛知県板金は東京都板金の八百二十五名に次いで八百二名は全国二位を誇る組合員である。三位は静岡で七百八十名で中部ブロックは二三・六%になる。

全板会館の建て替えの計画が発表されているが、相互・互助の建前で行けば愛知県板金は東京に次いで大きな負担を強いられることになる。

改革が望まれる。

八月二十八日(火) 晴

三六四号 編集会議

委員 八名 出席

午後五時終了 鷺見